



名古屋大学 高等研究院

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Tel. (052) 788-6051・6153 Fax. (052) 788-6151

E-mail: iar@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

<http://www.iar.nagoya-u.ac.jp/>

研究者育成特別プログラム

名古屋大学 高等研究院

TENURE TRACK SYSTEM



プログラム紹介

「名古屋大学高等研究院研究者育成特別プログラム」は、平成18年度科学技術振興調整費「若手研究者の自立的研究環境整備促進事業」の一環として採択されたプログラムです。

名古屋大学では、自立して高度な研究を推進できる若手研究者を育成するために、テニュアトラック候補者を国際公募し、部局による推薦に基づき優れた若手研究者を客観的に選考しました。高等研究院は、これらの若手研究者に自由な研究環境を与え、個々の研究活動を支援するとともに、高度で広い視野と高い研究者倫理を有する若手研究者を育成することを目指しています。本プログラムでの若手研究者の任期は5年とし、3年目と最終年に、予め推薦部局と合意した審査基準に沿って中間審査および最終審査（テニュア審査）を行い、可となれば推薦部局の教員となります。

テニュアトラック制度について

テニュアトラック制度は、米国の大学で広く採用されている教員人事制度です。若手研究者が、厳格な審査を経て安定的な職を得る前に、任期付きの雇用形態（3～7年程度）で自立した教員としての経験を積み重ね、任期終了後にテニュア審査に合格すると「テニュア（終身在職権）」を取得し、その大学に教員として終身雇用されます。

科学技術振興調整費 若手研究者の自立的研究環境整備促進事業

「若手研究者の自立的研究環境整備促進事業」は、科学技術振興調整費による課題です。この事業の目的は、若手研究者が自立して研究できる環境の整備を促進するため、世界的研究拠点を目指す研究機関において、テニュアトラック制度に基づき、若手研究者に競争的環境の中で自立性と活躍の機会を与える仕組みの導入を図るものです。本事業は自然科学全般を対象とし、実施期間は原則として5年間で、平成18年度は、名古屋大学を含め、全国の9大学による提案が採択されました。

公募・選考・採用・評価のプロセス

国際公募

高等研究院会議メンバーを中心とする選考委員会を構成しました。選考委員会で応募要項を作成し、応募条件は自然科学全分野、博士号取得後10年以内としました。NatureおよびScience誌等に公募広告を掲載し、専用ウェブサイトより公募を受け付けました。

公正な選考プロセス

外部評価員によるピアレビュー方式の書面審査および部局長からの推薦を評価材料としました。

推薦委員会による選考

推薦を受けた応募者毎に選考委員会が組織され、テニュア審査基準、採用予定職階を検討したうえ、推薦するか否かを判断しました。

選考委員会による採用者の決定

選考委員会は、外部評価員のピアレビュー方式の書面審査の評価と推薦委員会からの意見を参考に、採用者を高等研究院特任准教授、同特任講師として選考しました。

採用後の公正な評価過程

中間時（3年目）および終了時（5年目）に、推薦委員会が高等研究院で決めた基準に従って研究者の評価を行い、テニュア賦与の是非について判断し、可としたものについて部局に推薦する予定です。

高等研究院と部局との密接な協力関係

学内各部局は、人事計画・構想をもとに、優れた応募者を高等研究院へ推薦しました。また、選考に当たって推薦委員会に委員を派遣し、候補者の研究内容・計画、評価、テニュア審査基準等について予め高等研究院と協議しました。採用者は、任期中、高等研究院等において研究活動を行うとともに、推薦部局において教育に携わり、高等研究院と推薦部局の連携により研究者の研究・教育能力を育成します。

自立して研究できる環境の提供

採用された若手研究者に対して、研究費などを支給し、また高等研究院が管理・運営する「高等総合研究館」に研究室および実験室を貸与し、独立した研究室運営を積極的に支援しています。

研究者倫理教育の実施

本プログラムは、若手研究者が開かれた研究環境の中で実際に社会と向き合いながら研究活動を行える仕組みを整えることを重視し、高い研究者倫理を有する研究者の育成を実行しています。具体的には、（1）高等研究院教員による定例のレクチャー、フォーラム、セミナーなどへの参加、（2）セミナーの一部に、研究倫理問題を専門としている研究者の報告の追加、（3）年度末に、倫理教育に関連するテーマのレポートの提出、（4）開かれた研究環境の整備を目指して、高等研究院内にコモンルームを設置して、研究者間の自由闊達な議論や交流の促進、などを重点的に実施しています。

達成目標

本プログラムは、自然科学系全分野にわたる若手研究者を対象とし、国際公募・選考を経て採用されたテニュアトラック教員が卓越した研究成果をあげることに よってテニュアを取得し、推薦部局の教員となって活躍することを達成目標としています。

また、本プログラムで育成した若手研究者が、学内の各部局に異動することにより、 本学にテニュアトラック制度による研究者採用方式が学内に浸透し、これを通じてテニュアトラック制度が名古屋大学における教員人事のモデルケースとなること が期待されます。

高等研究院
特任准教授・特任講師一覧



伊藤 素行
Motoyuki ITOH

特任准教授 | 理学研究科

—— 研究テーマ ——

Notchシグナルの翻訳後修飾による調節機構と
その発生における機能解析



榎本 篤
Atsushi ENOMOTO

特任講師 | 医学系研究科

—— 研究テーマ ——

AktおよびWntシグナル伝達経路における
Girdinとそのファミリータンパク質の機能解析



海老原 祐輔
Yusuke EBIHARA

特任講師 | 太陽地球環境研究所

—— 研究テーマ ——

次世代内部磁気圏系シミュレーションの開発と
磁気嵐研究の新展開



勝野 雅央
Masahisa KATSUNO

特任講師 | 医学系研究科

—— 研究テーマ ——

神経変性疾患の病態解明、治療法開発および
分子イメージングの開発



小林 晃人
Akito KOBAYASHI

特任講師 | 理学研究科

—— 研究テーマ ——

分子性導体における質量ゼロの
ディラック粒子による新物性の研究



五島 剛太
Gohta GOSHIMA

特任准教授 | 理学研究科

—— 研究テーマ ——

生命科学：細胞内ダイナミクスの
メカニズムの探求



坂本 知昭
Tomoaki SAKAMOTO

特任講師 | 生命農学研究科

—— 研究テーマ ——

農業的重要形質の
発現制御機構の解明



清水 康弘
Yasuhiro SHIMIZU

特任講師 | 理学研究科

—— 研究テーマ ——

核磁気共鳴を用いた強相関電子系における
金属絶縁体転移の機構の解明



ステファン・イレ
Stephan IRLE

特任准教授 | 理学研究科

—— 研究テーマ ——

ナノカーボン工学とナノバイオ特性による
量子化学の研究



竹内 努
Tsutomu TAKEUCHI

特任講師 | 理学研究科

—— 研究テーマ ——

紫外線・赤外線を中心とする多波長データによる
銀河形成進化史の観測的・理論的研究



前田 勝浩
Katsuhiko MAEDA

特任講師 | 工学研究科

—— 研究テーマ ——

精密構造制御を基盤とした
機能性分子の開発と応用



森 英男
Hideo MORI

特任講師 | 工学研究科

—— 研究テーマ ——

分子センサーによる
マイクロ・ナノ流れの解析



持田 陸宏
Michihiro MOCHIDA

特任准教授 | 環境学研究科

—— 研究テーマ ——

有機エアロゾルの物理化学特性および
不均一反応過程とその気候への影響

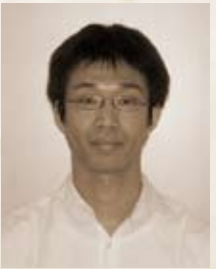


柳澤 聖
Kiyoshi YANAGISAWA

特任講師 | 医学系研究科

—— 研究テーマ ——

プロテオミクス解析技術を応用したヒト癌並びに
呼吸器疾患関連分子の探索とその臨床応用



渡辺 崇
Takashi WATANABE

特任講師 | 医学系研究科

—— 研究テーマ ——

細胞極性形成のin vitro/in vivoにおける
統合的解析